

## 挿 図

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| fig. 1 調査位置図             | fig.22 円板状土製品・紡錘車・土錘実測図 |
| fig. 2 調査地周辺図            | fig.23 墨画土器実測図          |
| fig. 3 平城京条坊図            | fig.24 墨書土器実測図          |
| fig. 4 右京8条1坊の地区割        | fig.25 軒丸瓦              |
| fig. 5 標定点配置図            | fig.26 軒平瓦・鬼瓦・異形瓦製品     |
| fig. 6 調査区北壁断面土層図        | fig.27 木製品実測図           |
| fig. 7 S D920シガラミ護岸検出位置図 | fig.28 祭祀用木製品実測図        |
| fig. 8 S D920土層図         | fig.29 木製品実測図           |
| fig. 9 S E930立面図         | fig.30 木製品・石製品実測図       |
| fig.10 条坊復原概念図           | fig.31 鉄製品実測図           |
| fig.11 11坪の占地            | fig.32 帯金具実測図           |
| fig.12 土器実測図(1)          | fig.33 銅製品・ガラス製品実測図     |
| fig.13 土器実測図(2)          | fig.34 銭貨拓影図            |
| fig.14 土器実測図(3)          | fig.35 銭貨計測値分布図         |
| fig.15 土器実測図(4)          | fig.36 鑄造関係遺物実測図        |
| fig.16 墨書人面土器実測図(1)      | fig.37 馬骨部位名称           |
| fig.17 墨書人面土器実測図(2)      | fig.38 動物遺存体出土分布図       |
| fig.18 墨書人面土器実測図(3)      | fig.39 京造営以前の土器・石器実測図   |
| fig.19 小型模型土器実測図         | fig.40 現地形と復原条坊         |
| fig.20 土馬実測図             | fig.41 西側溝出土祭祀遺物        |
| fig.21 陶硯実測図             | 卷末折込 遺構実測図(1:200)       |

## 例 言

1. 本書は、大和郡山市が同市九条町に計画した焼却場予定地の発掘調査報告である。
2. 調査は大和郡山市の委託を受けた奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が昭和58年4月12日～6月30日にかけて実施した。
3. 調査には工楽善通・上野邦一・千田剛道・巽淳一郎・本中 真・深澤芳樹・寺崎保広・橋本善則が参加した。
4. 調査に際しては、大和郡山市衛生局の全面的な協力を得た。
5. 本書の作製は、当調査部部长岡田英男の指導のもとに調査員全員があたり、全体の討議を経て以下のように執筆分担した。  
I-1・2、III-1B、IV-3 巽淳一郎 / I-3、II-1～3、IV-1 本中 真 / III-1A・2A 千田剛道 / III-1C・E 鬼頭清明 / III-1D 深澤芳樹 / III-1F・I、III-2B 工楽善通 / III-1G 松村恵司 / III-1H 杉山 洋 / III-1J 松井 章 / IV-2 金子裕之
6. 遺構・遺物・図版の写真は佃 幹雄が担当し、八幡扶桑・藤田千賀枝の協力を得た。
7. 本調査は平城宮跡発掘調査部の第149次調査として実施したもので、各遺構には平城京右京における調査規準に従い一連の番号を付した。
8. 出土鉾滓の分析と、土器に付着した白色物質の同定については、当研究所埋蔵文化財センターの沢田正昭・秋山隆保が行い、樹種鑑定については、光谷拓実が行った。
9. また大阪市立大学粉川昭平教授には、ミツガシワ層の同定ならびに有益な助言をいただいた。
10. 本書の編集は巽淳一郎が行った。